

「日吉台小学校150才を祝う会」 児童代表の言葉

1年2組 源間 結さん

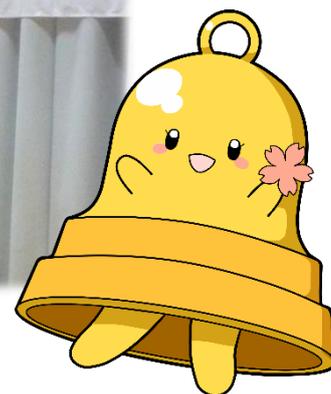
わたしは、このひよしだいしょう学校には、よいところがいっぱいあるとおもいます。そのなかでも、とくによいとおもうところはやさしいせんせいや、やさしいおにいさんおねえさんがたくさんいるところです。せいかつのじゅぎょうで、学校たんけんをしました。そのとき、たくさんのおせんせいにあいました。どのせんせいもやさしくしごとをおしえてくれました。みんなをまもるために、いろいろなしごとをしてくれていることをしってうれしくなりました。

また、ひよしだいしょう学校には、やさしいおにいさんおねえさんがたくさんいます。とくに六ねんせいは、学校のルールをおしえてくれました。学校すたんぷらりーをしたときには、

「すきなところをえらんでいいよ。」

と、いってくれました。とてもうれしかったです。六ねんせいのおかげで、学校ってたのしいなおもいました。

わたしも、やさしくて、なんでもおしえてあげられる六ねんせいになりたいです。この学校のよいところがずっとつづくように、がんばります。



私は日吉台小学校で学校生活を過ごす中で、強く実感していることがあります。それは様々な人たちとかかわりながら、そして支えられながら学校生活を送っているということです。

5年生の時の総合の学習の時間では、日吉の街の環境をより良くするために活動しました。はじめ、私たちはゴミが多く緑が少ないという日吉の街の課題があることに気づきました。このことについて調べてみると、日吉グリーンアクションという取り組みがあることを知りました。日吉グリーンアクションに参加する方々にも、私たちと同じような課題意識があり、みんなが住み良い日吉の街を作るために活動していることが分かりました。私たちも日吉グリーンアクションの方々と一緒にゴミ拾いをしたり、日吉駅前の花壇や商店街のプランターに水やりを行ったり、日吉の街の課題解決に向けて活動させてもらいました。地域の方々と、私たちと、お互いの協力によりお互いの思いを実現できたものだと思います。また、6年生となった今でも、これまでの学習でお世話になった方々に、昔の日吉台小学校やその方々が大切にしてきた考えなどをうかがい、私たちのこれからの生き方について考える学習を進めています。他にも様々なことから、私たちの学校生活は地域の方々に支えられていると強く感じています。

さらに、5年生からの委員会活動や運動会での応援団としての活動など、学校を支え、人のためになるような活動をする中で実感したこともあります。それは保護者の方々の力の大きさです。登下校時の旗振りでは、私たちの安全のために交通整理をしてくれます。それだけでなく「おはようございます」「いってらっしゃい」「気をつけてね」など優しく声をかけ、私たちを見送ってくれます。今回の150周年行事の取り組みも、PTAの方々をはじめ多くの保護者の方々に支えられて素晴らしい活動を行うことができています。安心して楽しい学校生活を送ることができるのも保護者の方々の支えがあるからです。地域の方々、保護者の方々いつもありがとうございます。地域の方々や保護者の方々とつながりは、私たちの学校生活に欠かせないもので、150年という歴史の中で築き上げられてきた日吉台小学校の宝物です。私たち6年生はもうすぐ日吉台小学校を卒業しますが、日吉の街に住む一員として、学校や街に貢献していきたいと思います。日吉台小学校が、「これからもいつまでも日吉のまちとともに」あることを願っています。

